

全 員 協 議 会

令和6年1月30日

- 1 令和6年度予算案について

令和6年度 当初予算（案）の概況

1	予算の特徴	1
2	各会計予算の規模	4
3	歳入予算（一般会計）	5
4	歳出予算（一般会計）	7
5	今後の財政見通し	11

※計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

未来を拓く子どもの笑顔と 子育て世代の安心を育む予算

私たちの暮らしに未曾有の困難をもたらした新型コロナウイルス感染症に対し、日本が一丸となって難局に立ち向かった結果、昨年5月に感染症法上の分類が季節性インフルエンザ並みの「5類」に引き下げられました。

3年以上もの間、休止を余儀なくされていた地域の行事が次々と再開し、街に活気が戻り、これまでの平穏な日常を取り戻しつつあります。しかし、長引く物価高騰もあり、地域社会や経済は、決して予断を許さない状況にあります。

これまで、コロナ禍の最中であっても、区民生活に関わる諸課題に対しては、歩みを止めることなく取り組んできたところですが、この間にも、我が国や本区が対処すべき本質的な課題が大きく顕在化しています。

1. 子ども・子育て支援施策
2. DXの推進
3. 高齢者施策
4. 地域コミュニティ活性化
5. 脱炭素社会の実現
6. 災害に備えたまちづくり

これら6つのテーマは、いずれも区民生活の基盤に関わる重要課題ですが、中でも、結婚や出産、子育てをためらう方々に寄り添う「子ども・子育て支援施策」と、行政サービスを刷新し区民の生活をアップデートする「DXの推進」には特に注力し、大きく変化する時代環境に的確に対応すべく「チャレンジングな取組み」を展開します。

本区においては、平成17年に制定した「千代田区子育て施策の財源の確保に関する条例」の下で、これまでも、子育てに関する問題を解決するために、様々な施策を推進してきました。

待機児童ゼロの達成、所得制限の無い高校生年代までの医療費無償化の実施などの先駆的な取組みの結果、職住近接志向による都心回帰の流れとも相俟って、本区における人口は、増加が続いています。

しかしながら、国全体では、令和4年の出生数は80万人を割り込み、合計特殊出生率は過去最低の1.26になっています。東京都では、合計特殊出生率が全国最低の1.04であり、少子化のスピードが一段と加速しています。本区でも、平成29年の659人が出生数のピークであり、増減を繰り返しながらも減少傾向にあります。

少子化は、地域社会の活力喪失に繋がりがねない深刻な問題です。

区民に最も身近な基礎的自治体である千代田区においては、将来を見据えて、育児にかかる様々な負担の軽減を図り、安心して子育てができる環境を、本区ならではの特徴や実態に合った形で充実させていく必要があります。

つまり、住居費など生活コストが高い都心部にお住まいの子育て世帯は、物価高騰の長期化により、これまで以上の経済的負担にさらされており、子育ての各ライフステージにおいては、身体的あるいは精神的な不安を抱えています。また、共働き世帯が多く、サポートしてくれる親族が身近にいないなどの困難も少なくないと思います。子どもの遊べる場所の確保や、保護者同士で相談できる場や機会の提供も、都心ならではの課題です。

本区のこれまでの子育て施策をさらにその先に進め、千代田区に住み、働きながらも、結婚や出産、子育てをためらっている方々に寄り添い、「千代田区なら安心して産み、育てられる」と前向きになっていただき、そして本区で育つ子どもたちには「千代田区はわたしたちのふるさとだ」と思ってもらえるよう、以下の3点を柱に、子ども・子育て施策を積極果敢に展開します。

1. 都心のリソースの活用と子育て・教育環境の整備・充実
2. 家庭環境に関わらず子育てができる経済的な負担の軽減
3. 子どものライフステージに応じた身体的・精神的な負担と不安を解消

「人々の生活をより良いものにする」とこそが、千代田区が進めるDXの目標です。

令和4年4月に「千代田区DX戦略」を策定し、これまで千代田区が大切にしてきたサービスは守りながら、コロナ禍の下で劇的に変化したライフスタイル・ワークスタイル、いわゆるパラダイムシフトを好機と捉え、抜本的な区民の利便性向上と職員の生産性向上を目指して、行政サービスを新たな段階へと推し進めています。

その第一歩として、令和5年8月に、本区独自のポータルサイトを開設し、子育てに係る様々な手続きがオンラインで可能になり、窓口では「書かない」で済むスマートな手続きができるようにしました。また、情報セキュリティ対策を講じた上で生成AIのトライアルを実施するなど、職員の働き方の変革を進めているところです。

令和6年度は、現行のDX戦略の最終年度になります。これまでの成果や課題を整理し、今後の展開等を検討し、「次期DX戦略」へ確実につなげていきます。

本区は、必要なサービスを必要な方のお手元まで確実にお届けする「ラストワンマイル」を意識しながら、温もりがあり、人にやさしい、誰もがデジタルの恩恵を享受できる千代田区DXを推進していきます。

令和6年度当初予算は、一般会計は695億7,562万円、そのうち子育てや教育などのための経費である子ども費は182億282万円、国民健康保険事業会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の3つの特別会計を加えた全会計合計は842億1,134万円です。

千代田区第4次基本構想が掲げる概ね20年先の将来像である「伝統と未来が調和し、躍進するまち～彩りあふれる、希望の都心～」をめざした取組みを着実に進めます。

千代田区長 樋口高顕

2

各会計予算の規模

- 令和6年度の全会計合計の予算規模は、842億11百万円、前年度対比△42億85百万円、△4.8%の減となりました。
- 一般会計は、695億76百万円、前年度対比△54億68百万円、△7.3%の減となりました。なお、区民一人あたりの予算額は101万2千円※となりました。
- 国民健康保険事業会計は、71億90百万円、前年度対比7億99百万円、12.5%の増となりました。
- 介護保険特別会計は、51億41百万円、前年度対比2億20百万円、4.5%の増となりました。
- 後期高齢者医療特別会計は、23億5百万円、前年度対比1億64百万円、7.6%の増となりました。

※令和6年度一般会計予算額を令和6年1月1日現在の住民基本台帳人口68,755人で除して算出した額です。

各会計予算の編成状況

(単位：千円)

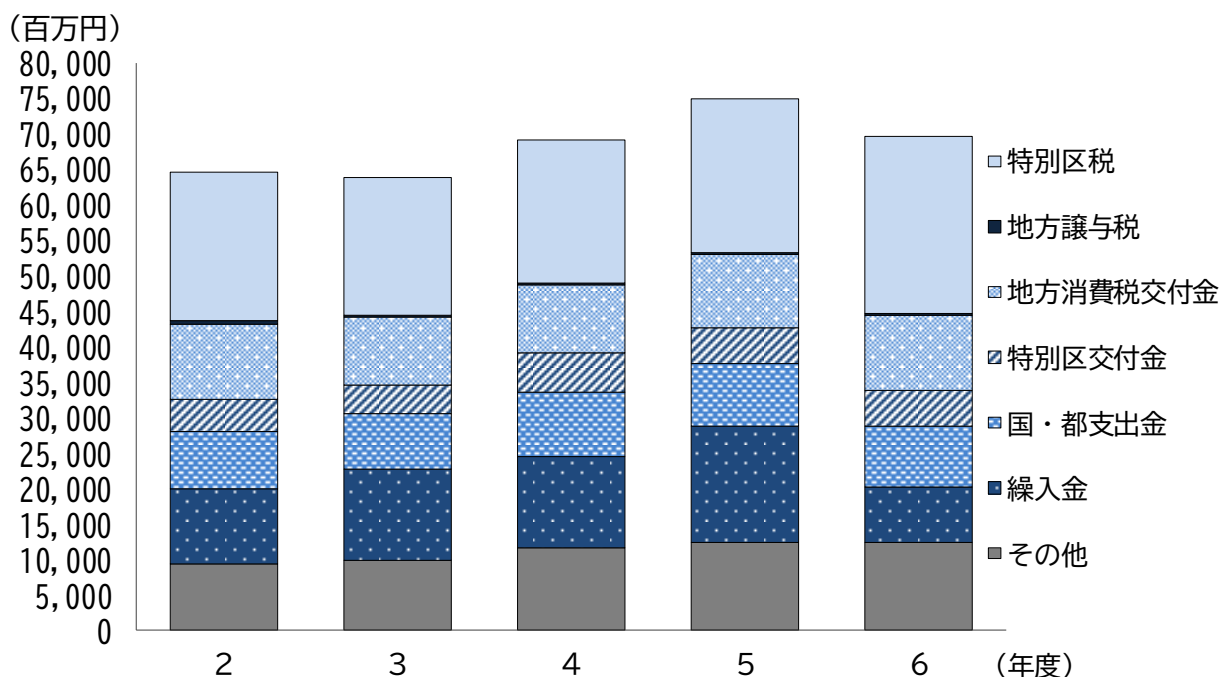
会 計 名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増(△)減額	増(△)減率
一 般 会 計	69,575,616	75,043,252	△5,467,636	△7.3%
国民健康保険事業会計	7,189,915	6,390,548	799,367	12.5%
介護保険特別会計	5,140,714	4,920,819	219,895	4.5%
後期高齢者医療特別会計	2,305,096	2,141,422	163,674	7.6%
全 会 計 合 計	84,211,341	88,496,041	△4,284,700	△4.8%

3

歳入予算（一般会計）

- 特別区税は、前年度対比 32 億 91 百万円、15.2%の増となりました。このうち特別区民税は、課税標準額の増などにより、前年度対比 23 億 50 百万円、12.6%の増、特別区たばこ税は、売渡本数の増などにより、前年度対比 9 億 35 百万円、32.1%の増となりました。
- 地方消費税交付金は、暦日要因のため本来令和 6 年度に交付される交付金が令和 7 年度に繰り越されることなどにより、前年度対比△ 1 億円、△1.0%の減となりました。
- 特別区交付金は、交付金の原資となる調整税等の増などにより、前年度対比 1 億 95 百万円、4.0%の増となりました。
- 分担金及び負担金は、「橋梁補修事業費負担金」△ 3 億 19 百万円の減などにより、前年度対比△ 3 億 64 百万円、△24.3%の減となりました。
- 使用料及び手数料は、「道路占用料」 1 億 22 百万円の増などにより、前年度対比 1 億 90 百万円、2.5%の増となりました。
- 国庫支出金は、「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金」△ 3 億 34 百万円、「戸籍法改正関連事業費補助金」△ 3 億 5 百万円の減などにより、前年度対比△ 8 億 52 百万円、△15.3%の減となりました。
- 都支出金は、「ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）補助金」 1 億 57 百万円、「保育従事職員宿舍借り上げ支援事業補助金」 1 億 10 百万円、「保育所等利用多子世帯負担軽減事業」 67 百万円、「都知事選挙費」 61 百万円の増などにより、前年度対比 5 億 31 百万円、15.4%の増となりました。
- 繰入金は、学校給食（小学校管理費、中学校管理費、中等教育学校管理費）の増などに伴う「子ども・子育て支援事業基金繰入金」 6 億 85 百万円の増があるものの、お茶の水小学校・幼稚園の整備の完了による減などに伴う「社会資本等整備基金繰入金」△ 75 億 34 百万円の減などにより、前年度対比△ 84 億 63 百万円、△52.3%の減となりました。

歳入予算額の推移



科 目	区 分	令和6年度予算額		令和5年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
		金 額	構成比	金 額	構成比		
		千円	%	千円	%	千円	%
1 特 別 区 税		24,931,738	35.8	21,640,573	28.8	3,291,165	15.2
	特 別 区 民 税	21,040,657	30.2	18,690,384	24.9	2,350,273	12.6
	軽 自 動 車 税	38,617	0.1	36,450	0.0	2,167	5.9
	特 別 区 た ば こ 税	3,844,866	5.5	2,909,876	3.9	934,990	32.1
	入 湯 税	7,598	0.0	3,863	0.0	3,735	96.7
2 地 方 譲 与 税		301,850	0.4	289,940	0.4	11,910	4.1
3 利 子 割 交 付 金		70,000	0.1	60,000	0.1	10,000	16.7
4 配 当 割 交 付 金		400,000	0.6	350,000	0.5	50,000	14.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		300,000	0.4	350,000	0.5	△50,000	△14.3
6 地 方 消 費 税 交 付 金		10,400,000	14.9	10,500,000	14.0	△100,000	△1.0
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金		1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 環 境 性 能 割 交 付 金		80,000	0.1	70,000	0.1	10,000	14.3
9 地 方 特 例 交 付 金		15,000	0.0	15,000	0.0	0	0.0
10 特 別 区 交 付 金		5,063,375	7.3	4,868,000	6.5	195,375	4.0
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		17,000	0.0	20,000	0.0	△3,000	△15.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金		1,135,166	1.6	1,498,956	2.0	△363,790	△24.3
13 使 用 料 及 び 手 数 料		7,837,443	11.3	7,647,491	10.2	189,952	2.5
14 国 庫 支 出 金		4,734,870	6.8	5,587,325	7.4	△852,455	△15.3
15 都 支 出 金		3,984,583	5.7	3,453,335	4.6	531,248	15.4
16 財 産 収 入		377,902	0.5	330,362	0.4	47,540	14.4
17 寄 附 金		27,155	0.0	16,214	0.0	10,941	67.5
18 繰 入 金		7,704,615	11.1	16,167,322	21.5	△8,462,707	△52.3
19 繰 越 金		100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
20 諸 収 入		2,094,918	3.0	2,078,733	2.8	16,185	0.8
歳 入 合 計		69,575,616	100.0	75,043,252	100.0	△5,467,636	△7.3

※入湯税は地方税法に基づき、観光の振興経費へ活用します。

※地方譲与税のうち、森林環境譲与税（31,850千円）については、森林の整備及びその促進に関する費用に活用します。

※地方消費税交付金のうち、平成26年度の消費税法改正に伴う税率改定分については、社会保障費へ活用します。

4

歳出予算（一般会計）

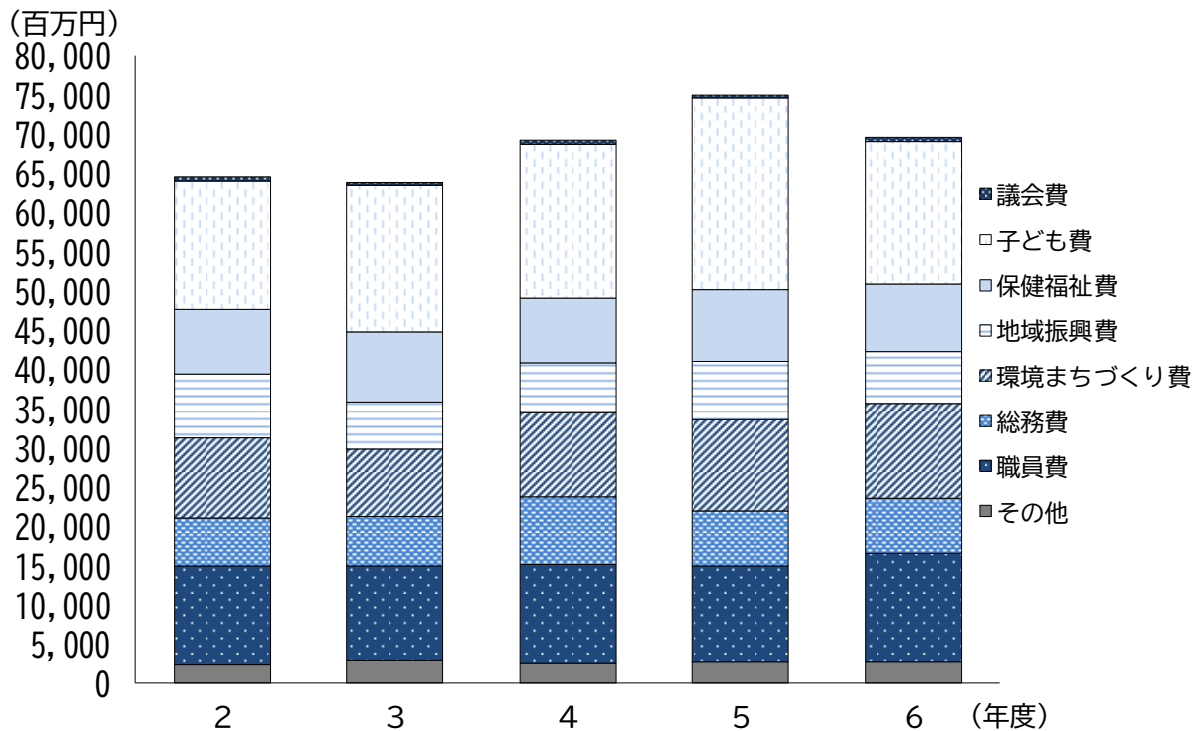
(1) 目的別歳出

- 議会費は、「議会中継」9百万円の増などにより、前年度対比10百万円、2.3%の増となりました。
- 子ども費は、「学校給食（小学校管理費、中学校管理費、中等教育学校管理費）」2億55百万円、「施設改修（小学校管理費、中等教育学校管理費）」1億92百万円、「ベビーシッター利用支援事業」1億69百万円の増があるものの、「お茶の水小学校・幼稚園の整備」完了による△71億53百万円の減などにより、前年度対比△62億50百万円、△25.6%の減となりました。
- 保健福祉費は、「新型コロナウイルスワクチン接種対策」△3億77百万円の減などにより、前年度対比△4億円、△4.4%の減となりました。
- 地域振興費は、「レシートを活用した区民生活応援事業」△4億14百万円、「戸籍事務費」△2億92百万円の減などにより、前年度対比△7億64百万円、△10.2%の減となりました。
- 環境まちづくり費は、「橋梁の整備」△5億41百万円の減があるものの、「清掃一部事務組合分担金」4億13百万円、「歩道の設置・拡幅整備」3億65百万円の増などにより、前年度対比2億77百万円、2.4%の増となりました。
- 総務費は、「総合行政システムのリプレイス」完了による△2億49百万円の減があるものの、「全庁LANの保守管理」3億63百万円の増などにより、前年度対比91百万円、1.3%の増となりました。
- 職員費は、職員数の増や定年引上げによる退職者の増などにより、前年度対比14億40百万円、11.7%の増となりました。

歳出予算一覧表（目的別）

科目	区分	令和6年度予算額		令和5年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
		金額	構成比	金額	構成比		
		千円	%	千円	%	千円	%
1	議会費	471,244	0.7	460,803	0.6	10,441	2.3
2	子ども費	18,202,815	26.2	24,452,409	32.6	△6,249,594	△25.6
3	保健福祉費	8,647,292	12.4	9,046,928	12.1	△399,636	△4.4
4	地域振興費	6,694,544	9.6	7,458,521	9.9	△763,977	△10.2
5	環境まちづくり費	11,933,266	17.2	11,656,665	15.5	276,601	2.4
6	総務費	7,120,636	10.2	7,029,280	9.4	91,356	1.3
7	職員費	13,747,092	19.8	12,307,470	16.4	1,439,622	11.7
8	公債費	165	0.0	165	0.0	0	0.0
9	諸支出金	2,308,562	3.3	2,181,011	2.9	127,551	5.8
10	予備費	450,000	0.6	450,000	0.6	0	0.0
	歳出合計	69,575,616	100.0	75,043,252	100.0	△5,467,636	△7.3

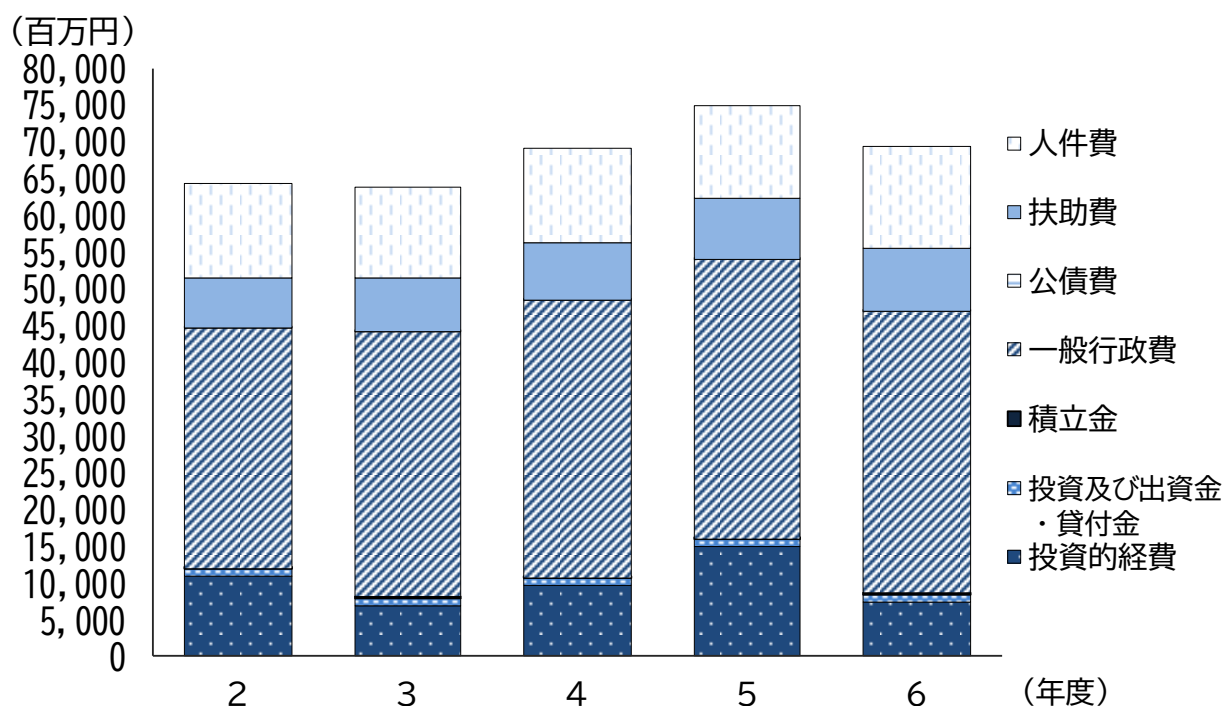
歳出予算額（目的別）の推移



(2) 性質別歳出

- 義務的経費は、前年度対比 15 億 71 百万円、7.5%の増となりました。
- そのうち人件費は、職員数の増や定年引上げによる退職者の増などにより、前年度対比 14 億 26 百万円、11.2%の増となりました。
- 扶助費は、児童手当の対象拡大に伴う「次世代育成手当」△2 億 11 百万円の減があるものの、「児童手当」1 億 46 百万円、「障害福祉サービス」1 億 36 百万円の増などにより、前年度対比 1 億 45 百万円、1.7%の増となりました。
- 一般行政費は、前年度対比 4 億 31 百万円、1.1%の増となりました。
- そのうち物件費は、「全庁LANの保守管理」3 億 72 百万円、「教育研究所等管理運営」1 億 25 百万円の増があるものの、「戸籍事務費」△2 億 92 百万円、「新型コロナウイルスワクチン接種対策」△2 億 91 百万円の減などにより、前年度対比△78 百万円、△0.3%の減となりました。
- 補助費等は、「レシートを活用した区民生活応援事業」△3 億 39 百万円の減があるものの、「清掃一部事務組合分担金」4 億 13 百万円、「学校給食（小学校管理費、中学校管理費、中等教育学校管理費）」2 億 65 百万円の増などにより、前年度対比 3 億 74 百万円、3.5%の増となりました。
- 投資的経費は、「歩道の設置・拡幅整備」4 億 15 百万円の増があるものの、「お茶の水小学校・幼稚園の整備」完了による△71 億 34 百万円、「橋梁の整備」△5 億 36 百万円の減などにより、前年度対比△75 億 1 百万円、△50.4%の減となりました。

歳出予算額（性質別）の推移

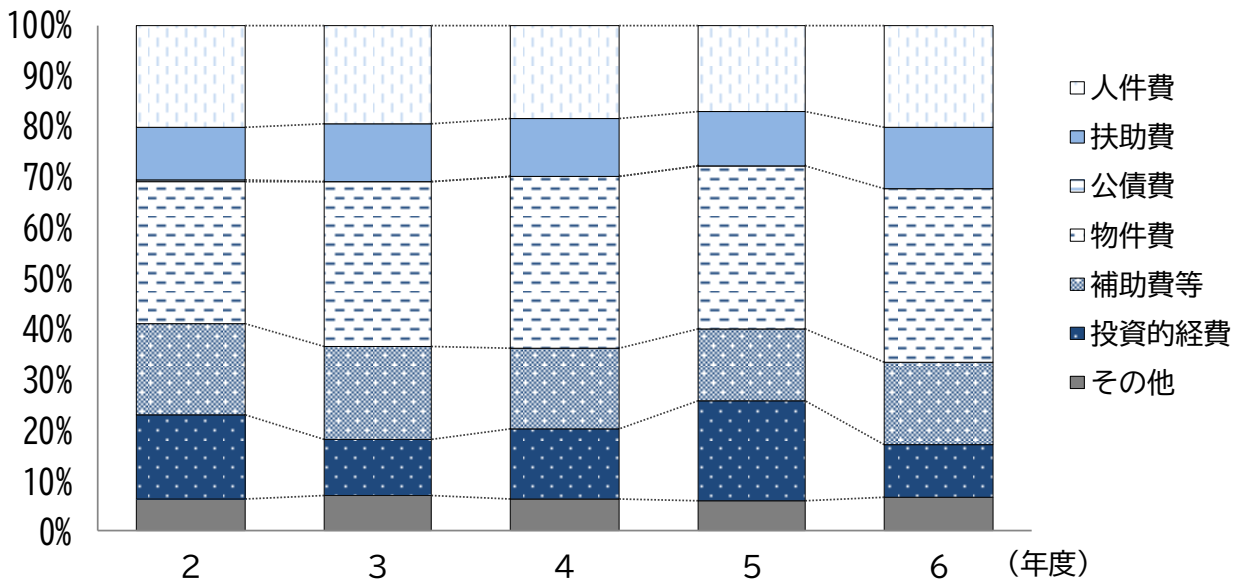


歳出予算一覧表（性質別）

区 分 科 目	令和6年度予算額		令和5年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%		
義 務 的 経 費	22,524,287	32.4	20,953,284	27.9	1,571,003	7.5
人 件 費	14,107,050	20.3	12,680,705	16.9	1,426,345	11.2
扶 助 費	8,417,072	12.1	8,272,414	11.0	144,658	1.7
公 債 費	165	0.0	165	0.0	0	0.0
一 般 行 政 費	38,458,999	55.3	38,028,483	50.7	430,516	1.1
物 件 費	23,923,800	34.4	24,001,966	32.0	△78,166	△0.3
補 助 費 等	11,115,846	16.0	10,742,253	14.3	373,593	3.5
繰 出 金	2,225,123	3.2	2,127,575	2.8	97,548	4.6
そ の 他	1,194,230	1.7	1,156,689	1.5	37,541	3.2
積 立 金	83,439	0.1	53,436	0.1	30,003	56.1
投 資 及 び 出 資 金	112,615	0.2	111,002	0.1	1,613	1.5
貸 付 金	1,003,575	1.4	1,003,575	1.3	0	0.0
投 資 的 経 費	7,392,701	10.6	14,893,472	19.8	△7,500,771	△50.4
歳 出 合 計	69,575,616	100.0	75,043,252	100.0	△5,467,636	△7.3

※「その他」は、維持補修費、予備費です。

歳出予算（性質別）構成比の推移



※「その他」は、繰出金、維持補修費、予備費、積立金、投資及び出資金、貸付金です。

5

今後の財政見通し

以下の前提条件のもと、今後の財政見通しを作成しました。

全般的事項

- 1 一般会計で行う全事業を対象に、財源と併せて推計しました。
- 2 経常歳出等のシーリングは、行っていません。
- 3 人口の増加による歳入・歳出への影響を見込んでいます。
- 4 令和6年度予算の数値を基礎として、以下の要因を見込んでいます。

歳入

1 特別区税

特別区民税、特別区たばこ税、軽自動車税、入湯税の合計です。特別区民税は、人口の増に伴う納税義務者数の増を見込んでいます。特別区たばこ税は、たばこ売渡本数の減を見込んでいます。

2 地方消費税交付金

暦日要因による影響を見込んでいます。

3 基金繰入金

様々な目的のために区で設置している各種基金の取崩しです。
歳出の増減に伴い、財源として繰り入れる基金繰入の増減を見込んでいます。

4 国・都支出金、その他の特定財源

道路占用料の改定による増や歳出の増減に伴う国・都支出金の増減等を見込んでいます。
基金利子について、財政調整基金は0.15%、社会資本等整備基金(一般積立分)は0.04%、その他は0.02%の利率(固定)で見込んでいます。

歳出

1 義務的経費

法令等で支出が義務付けられており、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費(生活保護費など、社会保障制度の一環として、各種法令等に基づき行う給付に要する経費)、公債費(区の借金の返済に要する経費)の合計です。

人件費は、職員数の増による職員給与費の増や定年引上げの影響による退職手当の増減等を見込んでいます。扶助費は、人口の増による給付の増を見込んでいます。

2 投資的経費

学校、区民施設や道路・橋梁の整備等に係る経費です。施設整備の進捗や計画的な施設保全経費等を見込んでいます。

施設規模や整備年次が定まっていない事業は、整備経費や業務量等の年度間バランスを考慮して見込んでいます。

3 一般的な事業費

上記1、2以外の全ての歳出で、施設の運営に係る委託料、区民や事業者等への補助金、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療制度の区負担分等の合計です。

区債残高(年度末)

区債の新規発行は見込んでいません。

基金残高(年度末)

各年度の基金繰入や実質収支・運用利子の基金積立の結果、各年度末に見込まれる基金残高です。

令和6年度～令和15年度の財政見通し（一般会計ベース）

（単位：百万円）

区 分	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11～15年度	合計
歳 入（A）	69,576	70,283	78,805	69,746	70,910	360,840	720,160
一 般 財 源	43,667	42,888	43,606	42,816	43,381	232,576	448,934
特 別 区 税	24,932	25,232	25,534	25,629	25,939	133,832	261,098
地方消費税交付金	10,400	11,400	12,300	11,400	11,400	56,900	113,800
特別区交付金	5,063	4,360	3,876	3,891	4,146	22,822	44,158
基金繰入金	1,376	0	0	0	0	9,542	10,918
財政調整基金	1,376	0	0	0	0	9,542	10,918
その他の一般財源	1,896	1,896	1,896	1,896	1,896	9,480	18,960
特 定 財 源	25,909	27,395	35,199	26,930	27,529	128,264	271,226
国・都支出金	8,719	9,782	9,395	9,035	9,265	46,982	93,178
基金繰入金	6,199	5,567	13,716	6,320	6,564	22,391	60,757
特定目的基金	6,199	5,567	13,716	6,320	6,564	22,391	60,757
その他の特定財源	10,991	12,046	12,088	11,575	11,700	58,891	117,291
歳 出（B）	69,576	70,283	78,805	69,746	70,910	360,840	720,160
義 務 的 経 費	22,524	22,828	23,689	23,268	24,001	120,578	236,888
人 件 費	14,107	13,860	14,634	14,055	14,666	72,374	143,696
職 員 給 与 費	10,223	10,395	10,517	10,589	10,593	53,315	105,632
退 職 手 当	834	416	1,068	417	1,024	3,814	7,573
その他の人件費	3,050	3,049	3,049	3,049	3,049	15,245	30,491
扶 助 費	8,417	8,968	9,055	9,213	9,335	48,204	93,192
公 債 費	0	0	0	0	0	0	0
投 資 的 経 費	7,393	7,253	15,700	6,213	7,550	42,940	87,049
一般的な事業費	39,659	40,202	39,416	40,265	39,359	197,322	396,223
差引収支(A) - (B)	0	0	0	0	0	0	0
区債残高(年度末)	0	0	0	0	0	0	
基金残高(年度末)	101,894	97,560	85,097	80,022	74,705	48,963	
財政調整基金	39,269	39,905	40,552	41,195	41,842	35,538	
特定目的基金	62,625	57,655	44,545	38,827	32,863	13,425	
基金残高(対6年度末増減)	0	△4,334	△16,797	△21,872	△27,189	△52,931	

POINT 今後も健全な財政運営をめざします

- 各種基金を今後10年間で子育てや教育、高齢者施策、施設整備等に717億円を活用し、124億円を積み立て、令和15年度末の基金残高は490億円となる見込みです。
- 人口が増加傾向にあることから、特別区税は増加していく見込みですが、事務事業の見直しを不断に行うなど、持続的な財政運営に努めます。
- 平成12年度以降、新たに区債（借金）を発行しておらず、令和4年度で償還を完了（完済）しました。今後も、現在と将来の世代間負担の公平性を図る区債の意義を踏まえつつ、できる限り将来世代に負担を先送りしない財政運営を行います。

令和6年度～令和15年度の財政見通しにおける基金充当一覧

(単位：百万円)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11～15年度	合計
基金繰入金合計	7,575	5,567	13,716	6,320	6,564	31,933	71,675
財政調整基金繰入金	1,376	0	0	0	0	9,542	10,918
財源不足対応分	1,376	0	0	0	0	9,542	10,918
コミュニティ活性化基金繰入金	117	117	117	117	117	585	1,170
地域コミュニティ活性化事業	12	12	12	12	12	60	120
商工関係団体等支援事業	105	105	105	105	105	525	1,050
社会資本等整備基金繰入金	3,855	3,107	9,760	4,184	4,305	16,447	41,658
区有施設整備・都市基盤整備等	3,855	3,107	9,760	4,184	4,305	16,447	41,658
地域福祉支援基金繰入金	8	8	8	8	8	40	80
社会福祉協議会支援	8	8	8	8	8	40	80
災害対策基金繰入金	273	184	184	184	184	920	1,929
防災行政無線維持管理	33	0	0	0	0	0	33
備蓄物資・機器等の整備	189	184	184	184	184	920	1,845
総合防災情報システムの構築	50	0	0	0	0	0	50
高齢者福祉基金繰入金	442	699	2,235	422	426	904	5,128
運営費補助等	401	407	410	422	426	904	2,970
高齢者施設整備	41	292	1,825	0	0	0	2,158
環境対策基金繰入金	470	709	638	641	758	2,133	5,349
各種助成制度等	470	709	638	641	758	2,133	5,349
子ども・子育て支援事業基金繰入金	1,033	743	774	764	766	1,362	5,442
運営費補助等	1,033	743	774	764	766	1,362	5,442

区有施設や橋梁、公園整備の見通し

■新築・改築施設

施設名	所在地	完了予定
(仮称) 四番町公共施設	四番町1番地、11番地	令和8年度
(仮称) 神田錦町三丁目施設	神田錦町三丁目10番地	令和8年度

■改修や大規模修繕などが予定される施設

施設名	所在地	完了予定
内幸町ホール	内幸町一丁目5番1号	令和8年度
ちよだアートスクエア	外神田六丁目11番14号	令和8年度

■改修・整備予定の橋梁、公園など

橋梁・公園名	所在地	完了予定	備考
お茶の水橋	神田駿河台二丁目	令和6年度	工事(補修補強)
後楽橋	神田三崎町三丁目	令和6年度	工事(補修補強)
雉子橋	一ツ橋二丁目	令和12年度	工事(補修補強)
新川橋	飯田橋二丁目	令和7年度	工事(塗装塗替等)
南堀留橋	九段北一丁目	令和8年度	工事(塗装塗替等)
三崎橋	飯田橋三丁目	—	令和6年度設計 (補修・塗装塗替)
宝田橋	神田神保町三丁目	—	令和6年度設計 (補修・塗装塗替)
東郷元帥記念公園	三番町18番地	令和7年度	
神田橋公園	神田錦町一丁目29番地	—	令和6年度設計
外濠公園	五番町	令和7年度	

■その他令和6年度予算で調査検討段階のもの

施設名等	令和6年度取組内容
番町小学校・幼稚園	施設整備に伴う影響や条件の整理、モデルプランの検討等
和泉小学校・いずみこども園等施設	整備に向けた調整
旧和泉町ポンプ所跡地	跡地活用の調査・検討
スポーツセンター	事業手法の検討等、基本構想の策定
九段生涯学習館	機能等の調査・検討



CHIYODA

令和6年度
当初予算（案）の概況
（別冊）

Contents

1 当初予算（案）の 概 括 ・ ・ ・ ・ P 3

(1) 当初予算（案）の特徴 ・ ・ ・ ・ ・ P 4

(2) 予算規模 ・ ・ ・ ・ ・ P 5

2 重点的に取り組む施策 ・ ・ ・ ・ P 6

(1) 予算編成方針に基づく 6 つのテーマ ・ ・ ・ ・ ・ P 7

(2) 総合的な子ども・子育て支援施策 ・ ・ ・ ・ ・ P 9

(3) DXの推進 ・ ・ ・ ・ ・ P15

(4) 分野別重点施策 ・ ・ ・ ・ ・ P19

① 自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち ・ ・ ・ ・ P22

② 集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち ・ ・ ・ ・ P36

③ やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち ・ ・ ・ ・ P39

④ 基本構想の実現に向けて ・ ・ ・ ・ P44

Point

1 当初予算（案）の 概 括 ・ ・ ・ ・ P 3

(1) 当初予算（案）の特徴 ・ ・ ・ ・ ・ P 4

(2) 予算規模 ・ ・ ・ ・ ・ P 5

2 重点的に取り組む施策 ・ ・ ・ ・ P 6

(1) 予算編成方針に基づく 6 つのテーマ ・ ・ ・ ・ ・ P 7

(2) 総合的な子ども・子育て支援施策 ・ ・ ・ ・ ・ P 9

(3) DXの推進 ・ ・ ・ ・ ・ P 15

(4) 分野別重点施策 ・ ・ ・ ・ ・ P 19

① 自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち ・ ・ ・ ・ P 22

② 集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち ・ ・ ・ ・ P 36

③ やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち ・ ・ ・ ・ P 39

④ 基本構想の実現に向けて ・ ・ ・ ・ P 44

未来を拓く子どもの笑顔と 子育て世代の安心を育む予算



一般会計

695億7,562万円

(前年度比) △54億6,764万円

区民1人あたりの一般会計予算額 101万円(※)

※ 令和6年1月1日現在 人口 68,755人

国民健康保険事業会計

71億8,992万円

(前年度比) + 7億9,937万円

介護保険特別会計

51億4,071万円

(前年度比) + 2億1,990万円

後期高齢者医療特別会計

23億510万円

(前年度比) + 1億6,367万円

1 当初予算（案）の 概 括 ・ ・ ・ ・ P 3

(1) 当初予算（案）の特徴 ・ ・ ・ ・ ・ P 4

(2) 予算規模 ・ ・ ・ ・ ・ P 5

2 重点的に取り組む施策 ・ ・ ・ ・ P 6

(1) 予算編成方針に基づく 6 つのテーマ ・ ・ ・ ・ ・ P 7

(2) 総合的な子ども・子育て支援施策 ・ ・ ・ ・ ・ P 9

(3) DXの推進 ・ ・ ・ ・ ・ P 15

(4) 分野別重点施策 ・ ・ ・ ・ ・ P 19

① 自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち ・ ・ ・ ・ P 22

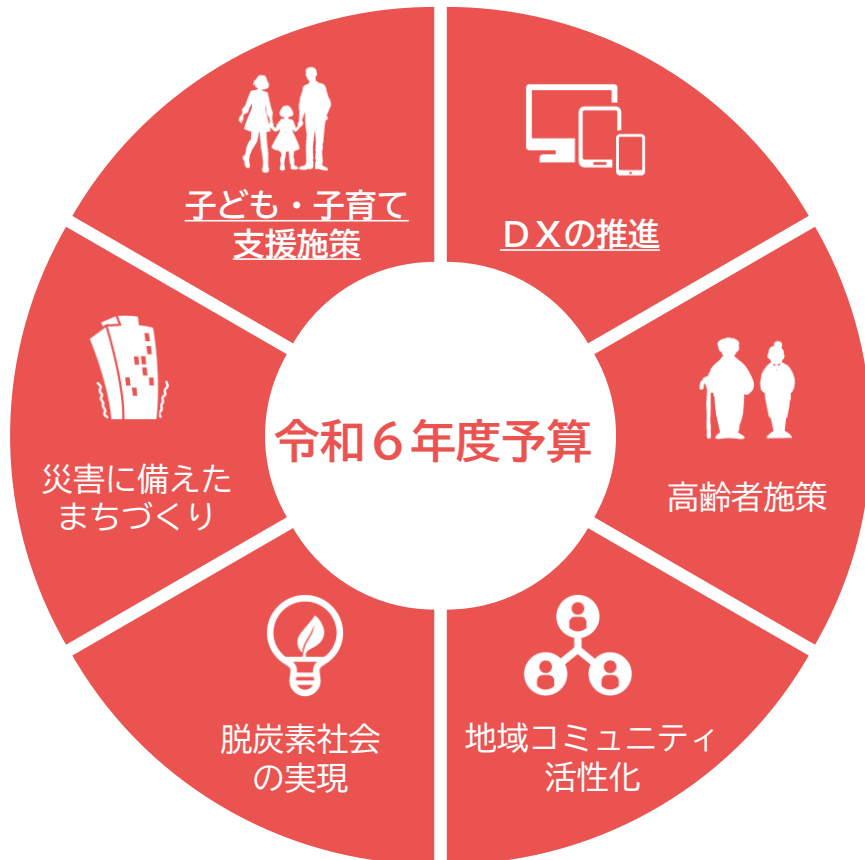
② 集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち ・ ・ ・ ・ P 36

③ やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち ・ ・ ・ ・ P 39

④ 基本構想の実現に向けて ・ ・ ・ ・ P 44

予算編成方針に基づく 6つのテーマ

6つのテーマで予算を編成



- 令和6年度予算は、区民等を取り巻く環境の変化を的確に捉え、社会の変化に応じた施策を積極的に展開することとし、予算編成方針に基づき重点的に取り組む6つのテーマを定めて予算を編成しました。
- これら6つのテーマは、いずれも区民生活の基盤に関わる重要課題ですが、中でも、結婚や出産、子育てをためらう方々に寄り添う「子ども・子育て支援施策」と、行政サービスを刷新し区民の生活をアップデートする「DXの推進」には特に注力し、大きく変化する時代環境に的確に対応すべく「チャレンジングな取組み」を展開します。

総合的な子ども・子育て支援施策



日本の少子化は危機的状況！

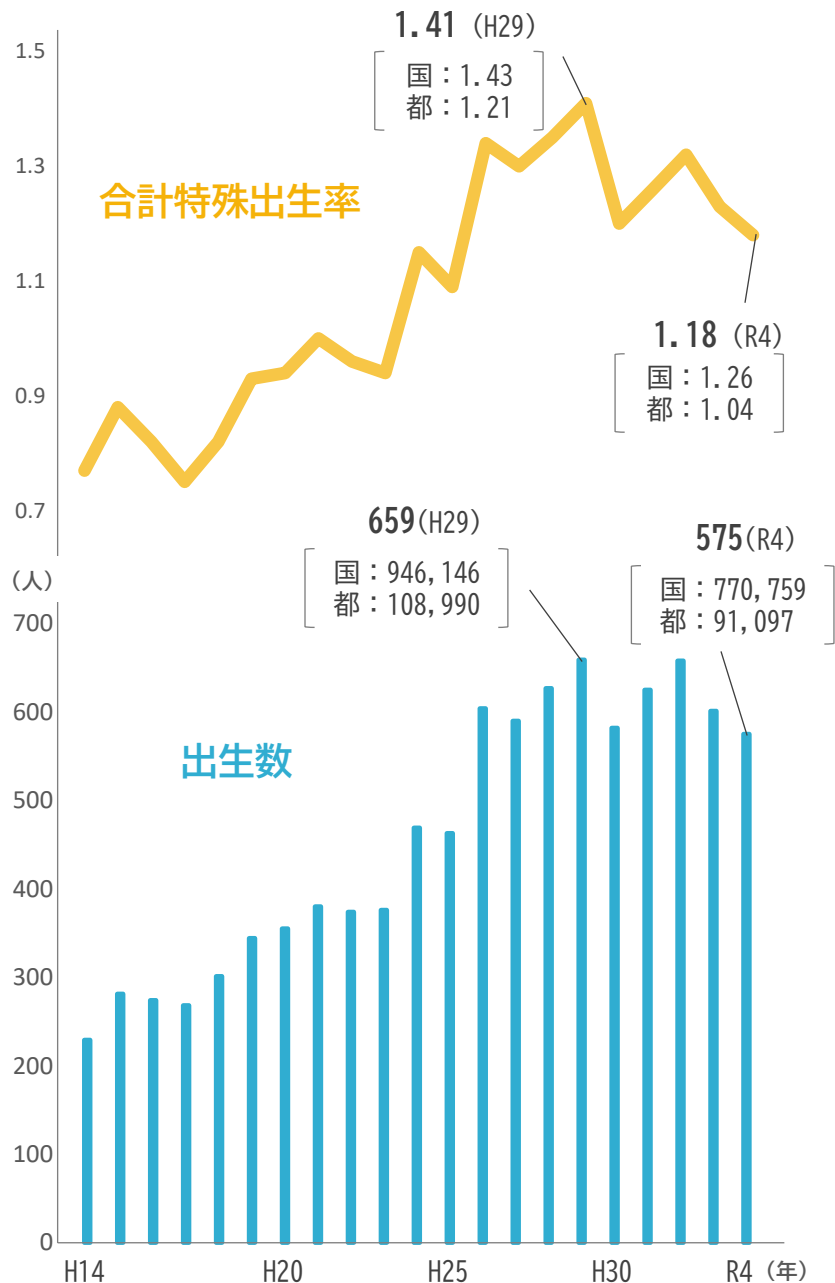
国

- 令和4年の出生数は、77万759人となり国の統計開始後最低となりました。
- 令和4年の合計特殊出生率は、1.26となり過去最低となりました。

都

- 出生数は一定水準を維持していますが、足元では減少傾向にあります。
- 令和4年の合計特殊出生率は、1.04となり全国最低となりました。

千代田区の合計特殊出生率と出生数



- 千代田区の人口は当分の間増加する見込みです。
- しかし、出生数は平成29年の659人をピークに、増減を繰り返しながらも減少に転じており、令和4年は575人となっています。
- 令和4年の合計特殊出生率は1.18となっており、東京都の1.04より高いものの、国の1.26より低くなっています。
- 少子化は、地域社会の活力喪失に繋がりがかねない深刻な問題です。
- 育児にかかる様々な負担の軽減を図り、安心して子育てができる環境を、本区ならではの特徴や実態に合った形で充実させていく必要があります。



千代田区においても 子ども・子育て支援施策の 充実が必要！

- 住居費など生活コストが高い都心部にお住まいの子育て世帯は、物価高騰の長期化により、これまで以上の経済的負担にさらされています。
- 子育ての各ライフステージにおいては、身体的・精神的な負担と不安を抱えています。
- 共働き世帯が多く、サポートしてくれる親族が身近にいないなどの困難も見られ、子どもの遊べる場所の確保や、保護者同士で相談できる場や機会の提供も、都心ならではの課題です。



千代田区なら安心して産み、育てられる

千代田区はわたしたちのふるさと

- 千代田区に住み、働きながらも、結婚や出産、子育てをためらっている方々に寄り添い、「千代田区なら安心して産み、育てられる」と前向きになっていただき、そして本区で育つ子どもたちには「千代田区はわたしたちのふるさとだ」と思ってもらいたい。
- 令和6年度に取り組む子ども・子育て支援施策はこのような理念の下、3つの柱を軸に、用途を拡大した子ども・子育て支援事業基金を財源として活用し積極果敢に展開します。
 - 1 都心のリソースの活用と
子育て・教育環境の整備・充実
 - 2 家庭環境に関わらず
子育てができる経済的な負担の軽減
 - 3 子どものライフステージに応じた
身体的・精神的な負担と不安を解消

令和6年度の新たな子ども・子育て支援施策

妊娠・出産期

乳幼児期

学齢期以降

子育て・教育環境の整備・充実

子どもの成長等に伴う引っ越し費用を助成 (P42)

病児保育室の開設・運営 (P24)
 子育てひろば事業を新たな場所で開催 (P24)
 私立保育所等への運営補助を拡充 (P25)

教育ローンにおける利子を補給 (P27)
 生成AIと次世代校務システムを導入 (P28)
 不登校対策を推進 (P30)
 私立学童クラブを新たに整備 (P24)
 児童館・学童クラブ等の質の向上 (P25)
 区立中学校の生徒を小笠原村へ派遣 (P28)
 体験型英語学習を区立中学校の全学年で実施 (P28)

新たな子どもの遊び場を確保 (P24、41)

区立学校における教材費を一部補助 (P27)
 区立学校の学校給食費を全額補助 (P27)
 区立中等教育学校（後期課程）の授業料を無償化

障害児を育てる家庭を対象としたベビーシッター利用補助を拡充 (P23)

障害児等を対象とした福祉サービス等の経済的負担を軽減 (P26、29)

妊婦への超音波検査の助成回数拡大 (P26)

2歳児のいる家庭への家事・育児パッケージの配付 (P26)

特別支援学級通学支援を拡充 (P30)

区内保育施設利用におけるおむつ等の提供 (P23)

男性を対象としたHPVワクチン任意予防接種費用を全額助成 (P33)

経済的支援

身体的・精神的支援

区独自ポータルサイトの子ども分野の手続きを拡大 (P45)

DXの推進



“人々の生活をより良いものにする”こと

- これこそが、千代田区が進めるDXの目標です。
- 昨今のライフスタイル・ワークスタイル等の劇的な変化、いわゆるパラダイムシフトを好機と捉え、抜本的な区民の利便性向上と職員の生産性向上を目指して、行政サービスを新たな段階へと押し進めています。
- 令和6年度は、現行DX戦略の最終年度です。これまでの成果や課題の整理、今後の展開等を検討し、「次期DX戦略」へ確実につなげていきます。
- 本区は、必要なサービスを必要な方のお手元まで確実にお届けする、「ラストワンマイル」を意識しながら、温もりがあり、人にやさしい、誰もがデジタルの恩恵を享受できる千代田区DXを推進していきます。



chiyodx (ちよだっくす)

千代田区DXをさらに推進する予算

利便性向上に向けたDX

- 区独自のポータルサイトの対象手続きを高齢・障害分野にも拡大（P45）
- オンライン上で手数料を支払えるオンライン決済を一部手続きに導入（P45）
- 区民等に有用なデータを見える化（P45）
- オンライン上で手続きが完結する会館施設予約システムを導入（P38）

子育て・教育 × DX

- 九段中等教育学校で生成AIと次世代校務システムを導入し、子どもの教育環境の充実及び教職員の働き方改革を実現（P28）
- 不登校対策として、仮想空間を活用した居場所・学びの場を提供（P30）

保健福祉 × DX

- ロボットを活用した障害者等の新たな就労機会を創出（P32）
- 区民歯科健診のペーパーレス化に向けた実証実験を開始（P33）
- データを活用し高齢者の低栄養を予防（P32）

文化振興 × DX

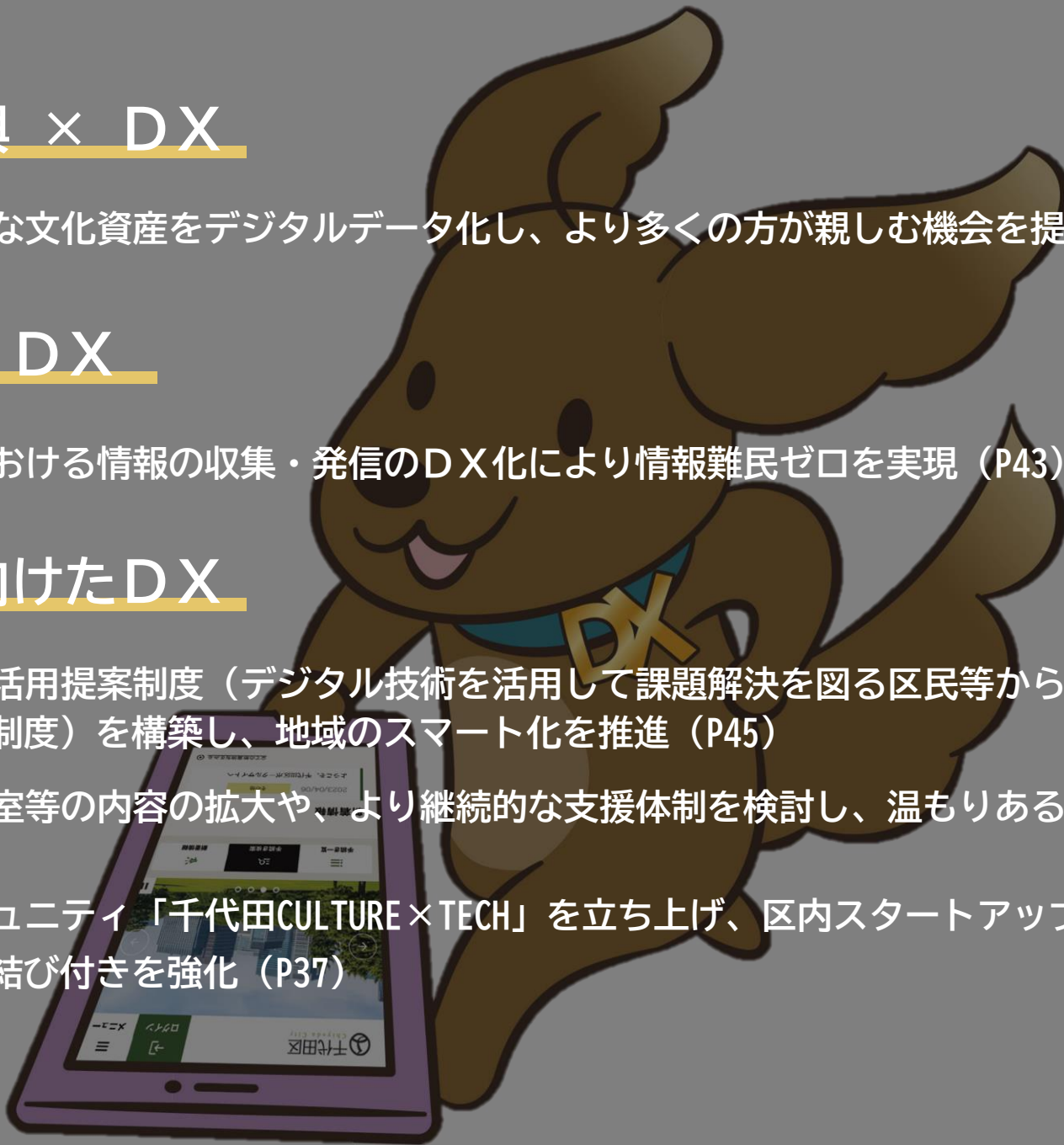
- 区の貴重な文化資産をデジタルデータ化し、より多くの方が親しむ機会を提供（P35）

防災 × DX

- 災害時における情報の収集・発信のDX化により情報難民ゼロを実現（P43）

今後に向けたDX

- デジタル活用提案制度（デジタル技術を活用して課題解決を図る区民等からの事業提案制度）を構築し、地域のスマート化を推進（P45）
- スマホ教室等の内容の拡大や、より継続的な支援体制を検討し、温もりあるDXを推進
- 産業コミュニティ「千代田CULTURE×TECH」を立ち上げ、区内スタートアップ企業間や地域との結び付きを強化（P37）



分野別重点施策

※掲載事業は、全て令和6年度の新規・拡充事業です。

※各ページの「主な取組み」のページ番号は、
「令和6年度予算（案）の概要」の掲載ページです。

※千代田区第4次基本構想の「めざすべき姿」及び「基本構想の実現に向けて」ごとに事業を分類し掲載しています。

自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

- 多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。
- すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。
- お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。
- 衛生的な環境のもと、いきいきと健康に暮らしています。
- 生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。
- 伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

- 活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。
- 人とのつながりが感じられ、支えあうことができています。

やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

- 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。
- 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。
- 地域特性を踏まえた強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができています。

基本構想の実現に向けて

(変化の激しい時代への柔軟な対応／多様性を尊重し認めあう社会づくり／参画・協働の推進)

令和6年度予算
のテーマ

※令和6年度予算編成方針に基づく6つのテーマに該当する事項には、
以下のマークを付しています。



子ども

子ども・子育て支援施策



コミュ

地域コミュニティ活性化



DX

DXの推進



脱炭素

脱炭素社会の実現



高齢

高齢者施策



防災

災害に備えたまちづくり



自分らしく健やかに暮らし、
笑顔で成長しあえるまち

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

子どもを産み、育てたくなるまちをめざして
保護者の身体的負担、経済的負担を軽減！



3億421万円



区内保育施設利用において、おむつ等を提供（P80）

区内保育施設においておむつや手口拭き等を用意することで、保護者がゆとりをもって子どもと過ごす時間を確保できるようにするとともに、保護者の通園に係る負担を軽減

ベビーシッター利用支援事業を拡充（P81）

区独自の取組みとして、対象児童又は18歳未満の兄弟姉妹が障害者手帳を有する家庭において、補助対象を小学校3年生の児童まで拡大するとともに、補助上限時間数を1人あたり216時間まで拡大

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

子育てしやすい環境整備を推進！



2億7,445万円



病児保育室の開設・運営（P80）

病気の回復期に至らず、集団保育を受けることが困難な乳幼児の受け入れニーズに対応するため、病児保育室を開設し、保護者の子育てと就労の両立を支援

神田公園地区で子育てひろば事業を実施（P82）

新たに神田公園地区において事業を実施することで、乳幼児親子がより身近な場所で利用できるようにし、子育て支援を充実

私立学童クラブを新たに整備（P82）

私立学童クラブを新たに整備し、保護者の就労を支援

新たな遊び場を確保（P79）

新たな遊び場を確保し、子どもの外遊び環境を充実

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

保育所・児童館等の
質の向上に向けた取組みを実施！



58億4,465万円



保育の質の向上に向けた取組みを推進（P79）

保育環境を一層整えるため、私立保育所等の医療的ケア児等の受け入れに係る準備経費やICT導入経費、保育士確保に向けた取組みに必要な経費を助成

児童館等の質の向上に向けた取組みを実施（P82）

区内の児童館及び学童クラブ等を巡回し、業務運営や人材育成に係る助言等を行う「（仮称）児童館等業務支援アドバイザー」を配置することで、児童館や学童クラブ等の運営支援を強化

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

区独自の取組みにより
小児慢性特定疾病児童等の
経済的負担を軽減！



754万円

妊娠期から子育て期の切れ目ない
相談支援体制の強化と
経済的負担の軽減を一体的に実施！



2億1,450万円



小児慢性特定疾病児童等に対する日常生活用具の購入に係る経済的負担を軽減（P95）

小児慢性特定疾病児童等に対する日常生活用具の給付に際し、これまで利用者が世帯の所得に応じ負担していた徴収基準額を区独自にゼロとすることにより、小児慢性特定疾病児童等の保護者の経済的負担を軽減

妊婦健康診査における超音波検査の助成回数を拡大（P94）

妊婦健康診査の検査項目の一つである超音波検査に係る費用の助成回数を、従来の2回分から4回分に拡大して公費負担することで、妊婦の健康管理を充実させ、出産に係る不安や経済的負担を軽減

1万円分の家事・育児パッケージを配付（P94）

2歳を迎える子どもを養育する家庭に対し、子育て支援に係る情報の提供と1万円分の家事・育児パッケージを配付するとともに、アンケートにより家庭状況などの把握を行うことで、子育て世帯への相談支援体制を強化

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

健やかな育ち・学びを保障するため
教育環境を充実！



7億3,081万円



教育ローンに係る利子を補給（P83）

入学・在学費用等の教育資金の貸し付けを受けた保護者に対し、借入金の返済利子を補給することで、子どもの学びの機会を保障

区立学校における教材費を一部補助（P83）

区立小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）におけるドリル等の冊子型教材や、理科・図工の材料型教材等、教育活動に係る教材費の一部を補助

区立学校の学校給食費を全額補助（P86）

区立学校の給食費を全額補助し、これまでと同様、栄養バランスに配慮した質の高い給食を提供することで、教育環境を充実

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

最新技術を活用した教育の提供と
教職員の働き方改革を実現！



3億3,180万円

成長につながる体験学習の機会を充実！



6,246万円



生成A I と次世代校務システムを導入 (P87)

九段中等教育学校において、区立校のモデルとして生成A I と次世代校務システムを導入することにより、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導の充実や支援を要する子どもの早期発見・支援、主体的・対話的で深い学びの実現を図るとともに、教職員の働き方改革を実現

小笠原村での体験を提供 (P83)

「千代田区教育委員会と小笠原村教育委員会との学校教育に係る連携協力に関する協定」に基づき、区立中学校の生徒を小笠原村に派遣することで、生徒の自然保護や平和・文化を尊重する態度を育成

体験型英語学習を区立中学校の全学年で実施 (P85)

区立中学校の全学年で体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」のプログラムに参加し、英語によるコミュニケーションの機会を確保・充実

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

区独自の取組みにより
障害児等に係る経済的負担を軽減！



4億4,854万円



放課後等デイサービス等の利用者負担をゼロに (P90)

児童福祉法に基づく児童発達支援や放課後等デイサービス、重症心身障害児等在宅レスパイト事業を利用した際に、これまで世帯の所得に応じ生じていた利用者負担額分を区独自にゼロとすることにより、障害児等の保護者の経済的負担を軽減

発達障害等の療育経費助成の補助率を引上げ (P90)

障害や発達に課題のある児童が、専門の療育機関等で相談や検査、療育指導等を受けた場合に係る経費助成の補助率を引き上げ、保護者の経済的・精神的負担を軽減

障害児等の障害福祉サービス利用等に係る経済的負担を軽減 (P99)

障害児等が障害福祉サービス・移動支援を利用した場合や、補装具・日常生活用具等を購入した場合の利用者負担額のうち、これまで世帯の所得に応じ生じていた負担額分を区独自にゼロとすることにより、障害児等の保護者の経済的負担を軽減

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

不登校の児童・生徒の
学びの場を確保！



1,029万円

特別支援学級に通う児童・生徒の
通学を支援！



1億790万円



主な取り組み

不登校対策を推進 (P89)

適応指導教室（白鳥教室）の受け入れ体制の拡充や校内教育支援センターの設置、仮想空間を活用した居場所・学びの場の提供により、不登校児童・生徒のための環境整備を推進。また、フリースクール等の民間施設との連携に向け、フリースクール連絡会を実施

小学校に加え、中学校においても特別支援学級の通学支援を実施 (P89)

区立小学校に加えて、区立中学校の特別支援学級在籍生徒の自宅等と学校間について添乗員が同乗する車両を運行し、生徒及び保護者の負担を軽減

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

風ぐるまが、より便利でエコに！
新規ルートの実証運行＆
電気自動車を導入！



2億3,719万円

福祉関係のお悩みに連携体制で対応！
包括的支援体制を整備

1,756万円



新規ルート実証運行の実施及び電気自動車の導入 (P96)

風ぐるま（地域福祉交通）を充実させるため、「四谷ルート」「神田ルート」の新規2ルートにおいて週5日程度実証運行を実施するとともに、電気自動車を1台導入し今後の活用を検討。また、利用者のニーズに合わせた臨時便を運行

コミュニティソーシャルワーカーを社会福祉協議会アキバ分室に配置 (P97)

神田地区を拠点に活動するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を社会福祉協議会アキバ分室に配置し、身近な地域での相談会の実施、地域資源を活用した支え合い活動、居場所づくり等を支援できる体制を構築するとともに、地域資源や関係機関の連携強化を図るためコーディネーター連絡会を実施・運営

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

障害者等の新たな就労機会を創出！



700万円

認知症への早期対応策と 高齢者の低栄養解消に着手！



1,806万円



多様な「働きたい」を応援！分身ロボットを活用した就労機会を創出（P99）

外出を伴う就労や長時間就労が困難である重度障害者等の新たな就労機会を創出するため、スマートフォン等の操作により自宅において短時間でも就労できる分身ロボットの活用を、障害者福祉センターえみふるで実施

軽度認知障害相当の高齢者等を対象としたプログラムの調査研究を区と医療機関が共同実施（P97）

東京都健康長寿医療センターと連携し実施している認知症支援サービス推進調査業務の内容に軽度認知障害（MC I）相当の高齢者等も対象としたプログラムの研究・開発を追加し、九段坂病院監修の下、活動能力や意欲のあるMC I相当の高齢者等を早期から支援する体制を構築

データベースを活用した低栄養予防事業を開始（P98）

国保データベース（KDB）システムの活用により低栄養リスクが高いことが分かった後期高齢者に対し、保健師及び栄養士が保健指導を実施。また、高齢者の通いの場におけるフレイル予防の普及啓発活動や健康相談等を実施

衛生的な環境のもと、いきいきと健康に暮らしています。

HPVワクチン任意予防接種の
費用助成を区独自に拡充！

3億4,693万円



区民歯科健診のペーパーレス化に
向けた第一歩！

5,901万円



男性を対象としたHPVワクチンの任意予防接種費用を全額助成 (P101)

女性のみが定期予防接種対象であるヒトパピローマウイルス (HPV) の感染を防ぐワクチンについて、小学校6年生から高校1年生相当年齢までの男性を任意接種として区独自に対象に加え、4価ワクチンの接種費用を全額助成

区民歯科健診のペーパーレス化に向けた実証実験を開始 (P102)

一部の区内歯科医療機関において、タブレット機器を活用した歯科健診のペーパーレス化に係る実証実験を開始

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっていきます。

区民が自主的かつ継続的な学習活動を行う場として新九段生涯学習館の機能等の調査・検討に着手！



1,320万円



主な取り組み

生涯学習・文化芸術活動の拠点となる、新九段生涯学習館の機能等の調査・検討を実施（P104）

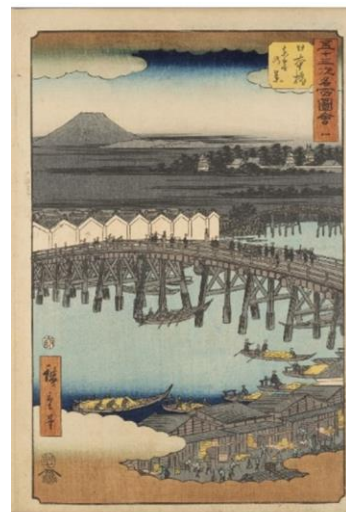
「九段南一丁目地区市街地再開発事業」のエリア内に所在している九段生涯学習館について、子どもや障害者、高齢者等全ての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点として、新九段生涯学習館に求められる機能等の調査・検討を実施

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

区の貴重な文化資産をデジタルデータ化！



5,325万円



紀伊国屋三谷家コレクション（区教育委員会寄託）

浮世絵や古文書など区の貴重な文化財をデジタルデータ化（P108）

区が所蔵している浮世絵や古文書などの劣化の進みやすい文化財について、適切に維持管理し、歴史的価値を広く伝えることができるようデジタルデータ化。また、公開方法や展示利用の検討を進め、区民等が文化財に親しむ機会や学術研究への活用を拡大

日比谷図書文化館特別研究室の貴重な資料をデジタルデータ化（P108）

日比谷図書文化館に収蔵されている、内田嘉吉文庫（約1万6千冊）や古文書・絵図等の貴重な資料の一部について、より多くの方に親しんでもらえるようデジタルデータ化。また、公開方法の検討を進め、区が有する他に類を見ない知的財産の活用を図るとともに、貴重な資料の保存を推進



集い、つながり、
活気とにぎわいのあるまち

活 発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

産業コミュニティの発展支援により
まちのにぎわいを創出！



4,279万円



スタートアップ企業間や地域との連携強化、販路拡大を支援 (P109)

産業コミュニティ「千代田CULTURE×TECH」を立ち上げ、オフライン・オンラインイベントの実施等により、区内スタートアップ企業間や地域との結び付きを強化

また、アジア最大級の中小企業振興イベント「SusHi Tech Tokyo 2024」に区と区内スタートアップ企業が共同出展することにより、販路拡大につなげ、千代田のブランド力を向上

産業振興分野における地域課題解決のための取組みを支援 (P109)

東京都のUPGRADE with TOKYO事業を活用し、スタートアップ企業の持つ新たな技術・手法によって地域の回遊性向上に向けた取組みを試行的に展開

また、地域課題解決に資する取組みを検討し、人や関連企業を地域に呼び込み、まちのにぎわいを創出

主
な
取
組
み

人とのつながりが感じられ、支え合うことができます。

使いやすさがさらに向上！
会館施設予約システムで
手続きもカンタンに！

5,646万円



主
な
取
組
み

来庁不要！オンライン上で手続きが完結する会館施設予約システムを導入（P110）

区民館やコミュニティスクール等の施設予約を行う会館施設予約システムのリプレースを行い、施設利用の予約・決済をオンライン上で完結できる機能を導入。また、従来施設に加え、学校施設においても本システムの導入を進めることで、区民のさらなる利便性向上及び職員の業務効率化を推進



分野別の将来像

やすらぎを感じ、
安心して快適に暮らせるまち

第8回東京大回廊写真コンテスト入選作品
「穏やかな午後」

良 好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

■ 中小企業のGXへの取組みを支援！



2億6,118万円

■ 2030区有施設ゼロカーボン達成に向けて取組みを加速！



1億5,940万円



環境省に認定された脱炭素アドバイザーの資格受験料の一部を助成 (P115)

区内中小企業を対象に、環境省に認定された脱炭素アドバイザーの資格受験料の一部を助成し、中小企業が自社の温室効果ガスを削減するための取組みを支援

中小企業を対象に低炭素建築物の新築又は増改築に係る助成額を倍増 (P115)

中小企業における脱炭素化の取組みを一層促進するため、区内中小企業を対象に、二酸化炭素削減量1tあたりの助成額を25万円から50万円に拡充するとともに、助成限度額を1,000万円から2,000万円に引上げ

ZEVごみ収集車導入に向けた検討を開始 (P117)

都からZEVごみ収集車を一定期間借り受け、実際のごみ収集ルートで試験的に運用し、ZEVごみ収集車導入に向けて効果検証等を実施

街路灯のLED化を推進 (P116)

区が管理する街路灯のうちLED化されていない約5,000基を、令和6年度から令和12年度までの7年間でナトリウム灯からLED灯に変更して、省エネルギー化を実現

良 好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

ニーズや特徴を活かした公園リニューアルに着手するとともに、公園の魅力向上とにぎわい創出に向けた取組みを推進！



2億9,690万円



主
な
取
組
み

公園・児童遊園等整備方針を改定！

一部公園整備に着手するとともに、新たな公園活用に向けた検討の実施（P116）

最新の公園利用に係る区民ニーズや利用実態調査の結果等を踏まえて公園・児童遊園等整備方針を改定するほか、利用者が少ない公園等について有効活用すべく、一部の公園整備に着手

また、公園の魅力や価値を向上させるため、区立公園等における多面的な活用に向けた検討を行うとともに、令和5年度に試行的に実施した公園内における花火利用について、区内8か所で展開できるよう環境整備

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

安心して子どもを産み、育てることができるよう子育て世代が
住み続けられる住環境を推進！



1億4,408万円

都心生活の質（QOL）を向上し
「つながる都心」を実現！



4,346万円



子育て世代が住み続けられる住環境を推進（P122）

区内で親元近居のための住み替えや広い住宅へ転居する子育て世帯への住宅（家賃）助成に加え、新たに引っ越しに係る費用を助成（初回のみ10万円）し、世代間共助の支援や住み続けられる住環境を推進

水辺を活かした空間の創出（P119）

地域資源である水辺を誰もが快適に楽しめるにぎわいのある空間とするため、景観の魅力を向上させる橋のライトアップに向けた調査・検討を実施

地域特性を踏まえた強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができます。

区民の生命と財産を守るため
防災DXを推進！



1億49万円



防災DXを推進し、災害時における情報難民ゼロを実現（P131）

災害情報を一元化した防災ポータルサイトを開設するとともに、防災アプリを導入し、災害時における区民等へのプッシュ型の情報発信を強化。また、総合防災情報システムを構築し、災害に係る情報共有を効率化し、災害時における避難指示や情報発信の判断・決定を迅速化



基本構想の実現に向けて

基本構想の実現に向けて

デジタル化と地域のスマート化を加速し区民の多様な幸せを実現！



3億528万円

ふるさと納税制度を活用！

2,500万円



主な取り組み

オンライン手続きを拡充 (P132)

いつでも、どこでもオンラインで手続きできる区独自のポータルサイトの対象手続きを現在の子育て分野に加え、高齢・障害分野にも拡充するとともに、一部手続きではオンライン上で手数料等を支払えるオンライン決済を導入

地域のスマート化を推進 (P132)

デジタル活用提案制度（デジタル技術を活用して課題解決を図る区民等からの事業提案制度）を構築するとともに、ダッシュボードにより区民等に有用なデータを視覚的に分かりやすく発信するなど、データの見える化を図ることで地域のスマート化を実現

ふるさと納税制度を活用 (P131)

ふるさと納税制度を活用し、千代田区が有する資源を活かした返礼品の提供を開始するとともに、地域課題の解決に向けたクラウドファンディングなどを検討

千代田区

伝統と未来が調和し、躍進するまち
～彩りあふれる、希望の都心～